

東区 葵学区

住民交流

健康・福祉

青少年育成

環境・美化

防犯・交通安全

防 災

歴史・文化・芸術

その他

「名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業」

あなたの力で葵学区をより住みやすいまちに！



【葵学区】

■世帯数：5,231 世帯

■人 口：8,309 人

■面 積：0.829k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

平成 20 年度から名古屋市が実施する「名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業」を平成 24 年度より実施。活動へのボランティアとして約 60 人が登録。

①「ふれあい活動」

- ・給食会、子育てサロン、清掃活動、もちつき大会等

②「困りごとお助け活動」

- ・ゴミ出し、資源回収の手伝い、電球の取替等
- ・地域福祉活動推進員が週 2 回、午前中に困りごとの相談、依頼を受け付けている。

【住民への PR 方法】

チラシの各戸配布および回覧

【アピールポイント】

担い手として団塊の世代を始めとするシルバーパワー世代の地域福祉活動への参加を促進し、併せて将来、地域で孤立する団塊世代、シルバー世代がいないようにする。

2 きっかけ、背景

高齢者には行政や業者に頼むほどでもない「ちょっとした困りごと」があると思い、こうした支え合いの仕組みがあると気軽に頼める高齢者への個別支援事業として発足。また、ボランティアに登録した人はポイント制度により、ボランティアグループに寄付することができ、二度貢献する事ができる。この活動を通じて潜在的な地域課題の掘り起こしにつながった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員
計約 20 人

(2) 他団体との協力

学区連絡協議会、区社会福祉協議会

(3) 運営協力

事業の継続のため、随時ボランティアを募集していく。

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- 活動を通じて、助け合いについての住民の意識が高まっている。
- ボランティアは 50 歳以上限定にも関わらず多数の登録者（60 人）があり、これ以外の活動の担い手の広がりにも今後期待ができる。

(2) 苦労した点

- 学区連絡協議会での説明時は、先駆的な取組のため、住民の理解を得るのに時間がかかった。

(3) 今後の課題・展望

- 活動内容の拡充と、利用対象者の拡大が今後の課題。素晴らしい仕組みなので時間をかけ大事に育てていく。

(4) メッセージ・アドバイス

- 継続するものにするには助ける側と助けられる側という立場ではなく、持ちつ持たれつの支え合い関係をともに楽しむという姿勢が大事。

4 実施のスケジュール

H23 年 学区連絡協議会においてシルバー
9 月 パワー事業説明会

12 月 活用連絡会議 事業実施を決定

H24 年 活用連絡会議 地域福祉活動推進
1 月 委員の選任

2 月 「葵おたすけボランティア」第 1
回募集

4 月 「葵おたすけボランティア」第 2
回募集

7 月 活用連絡会議において 今後の進
め方、課題などの話し合い

